

第6次江南市総合計画市民会議 議事要旨 (第6回 第2分科会 (ひとづくり分野・ちいきづくり分野))

日 時 平成29年1月23日(月) 15:00~16:40

会 場 江南市役所 防災セミナー室(北)

出席者 出席委員10名(全員出席)

■委員

《会長》	松尾 昌之	江南市子ども・子育て支援推進協議会会長
《副会長》	岩根 佐代子	公募市民
	大森 英樹	公募市民
	近藤 功明	公募市民
	坪内 三	江南市老人クラブ連合会会長
	坪内 利男	江南市体育協会会長
	伊藤 健司	江南市総合計画策定部会(ひとづくり分野) 部会長
	中村 信子	江南市総合計画策定部会(ひとづくり分野) 副部会長
	貝瀬 隆志	江南市総合計画策定部会(ちいきづくり分野) 部会長
	高島 勝則	江南市総合計画策定部会(ちいきづくり分野) 副部会長

■傍聴者

なし

◆議題

議題

(1) 基本計画(分野別計画)について

〈配付資料〉

資料1 江南市総合計画市民会議(第4回第2分科会) 議事要旨

◆会議結果

1 開会

事務局より挨拶。

2 市民会議

2.1 報告

(1) 第4回議事要旨の確認について

(会 長) 報告(1)の「第4回議事要旨の確認について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局) ~ 資料1について事務局より説明 ~

(会 長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

~ 特に意見なし ~

(会 長) 特にご意見がないようですので、次に移ります。

2.2 議題

(1) 基本計画(分野別計画)について

(会 長) 議題(1)の「基本計画(分野別計画)について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局) ～ 資料3、4について事務局より説明 ～

(会 長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

～ 特に意見なし ～

(会 長) 特にご意見がないようですので、次に移ります。

(1. 1) 検討した柱の修正確認について

①Ⅳ－3 高齢者福祉について

(会 長) ご意見等ありますか。

～ 特に意見なし ～

(会 長) 特にご意見がないようですので、次に移ります。

②Ⅳ－4 障害者福祉について

(会 長) ご意見等ありますか。

～ 特に意見なし ～

(会 長) 特にご意見がないようですので、次に移ります。

③Ⅳ－7 生活支援・福祉活動について

(会 長) 行政の使命には、「既存の制度・機関のみでは対応が困難な課題を地域全体で解決できる仕組みをつくる」とあり、現状では具体的なものはないとあるが、もしそのような事例が出てきた場合は、新しい仕組みを考える姿勢はあるということを示したものと理解していいか。

(福祉課) そうです。

④Ⅳ－5 健康づくりについて

(会 長) ご意見等ありますか。

～ 特に意見なし ～

(会 長) 特にご意見がないようですので、次に移ります。

(1. 2) 柱の検討について

①分野Ⅱ－柱2 学校教育について

(教育課) ～ 分野Ⅱ－柱2 学校教育について教育課長より説明 ～

(会 長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

(委 員) 特別支援学級等支援職員配置人数を増やして、支援体制の充実を図るとのことだが、特別支援学級の教師に話を聞くと、障害を持つ児童の勉強方法などについてどうしたらいいのかわからないとの声があがる。それに対して、職員の配置の他に支援の充実を図るプログラム等はあるのか。

(教育課) 特別支援教育については、愛知県教育委員会がさまざまな研修を開催していますので、各小中学校に積極的な参加を呼びかけています。江南市においても、教師力を高めるため、特別支援を含むさまざまなテーマを扱い、今後発生するであろう課題について研修を実施していきたいと考えております。

(委 員) 特別支援学級の児童・生徒は、いじめにあう可能性が高いと考えられるが、他の生徒に対する取り組みも必要なのではないか。

(教育課) 日頃から人権についてのさまざまな視点からさまざまな活動をとおしていじめの防止に努めています。知識や経験の少ない成長過程・発達段階では、障害をもつ子どもたちに対して心無い言葉をかけてしまうこともあり、低学年のうちから道徳や学級活動の中で、障害の有無に関わらず、人を思いやる気持ちを培っていききたいと考えています。

(会 長) 知的障害や自閉症などは、従来から研究が進められており、指導方法がある程度確立されているが、軽度発達障害に関しては、まだその特性を把握しきれていない。その点に関して、県の研修プログラムは教師に必要とされているものが身につくような内容になっているのか。

(教育課) 軽度発達障害や自閉症スペクトラムについても、日々の研究成果が積み上げられており、あ

る程度の対策をとれば、通常学級で活動できるといった事例も増えています。個別の事例によってこうすれば解決できるといった問題ばかりではないので、個人情報に配慮しつつ、個別の事例を教育委員会だけでなく、校長会などでも共有し、経験値を積み重ねていきたいと考えています。県では、特別支援学級の担当者だけでなく、管理職を対象とした研修も実施しています。

(委員) 現状と課題に「一人ひとりの個性と能力に応じた教育体制のさらなる整備」とあるが、具体的にはどういうことか。

(教育課) 現状では、補助教員を配置し、クラスを半分に分け少人数学級を実施し、個々の特性に合った学習体制を整えています。

(委員) 個別目標④には「教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態」とある。子どもたちには、空調の整った環境で授業を受けさせたいと考えているが、設備の整備についての、今後の見通しはどうか。

(教育課) 現在、全国的に普通教室へのエアコン整備が徐々に進められています。愛知県内では、耐震化改修が進められていることから、エアコン整備に関しては遅れています。しかし、近隣でも機運は高まっており、江南市でも、検討を始めているところです。また、校舎全体の大規模改修については、国の補助金もつきにくい状況ですので、トイレだけでも洋式化と床の乾式化をしたいと考えており、平成 29 年度には古知野南小学校のトイレ改修工事を予定しています。

(委員) 地域連携の推進については、新聞などでも中学校の部活動の指導などによる教師のオーバーワークが報じられている。地域の人材を活かして指導に当たるといった対応が可能ではないのか。

(教育課) 現在、教師では指導が難しい吹奏楽や剣道などについて、各中学校 4 人の枠で配置できるような体制をとっています。現在 19 人の外部指導者を配置しているところです。

(委員) ICT 機器を導入するとあるが、具体的な目標が掲げられていない。導入に関して現状または見通しを教えてください。

(教育課) 平成 29 年度には小学校 10 校の全ての普通教室にタブレット、プロジェクターを配置し、授業に役立てていく予定です。中学校に関しては、平成 30 年度以降に同様に配置していく予定です。

(委員) 私立でもなかなかそこまでできていない。もっと PR してはどうか。

(委員) コンピュータールームはどうなるのか。

(教育課) コンピュータールームには、現在デスクトップパソコンが配置されていますが、今後は、タブレットを配置します。

(会長) 個別目標の「地域の行事に積極的に参加している児童・生徒」だが、「地域」の捉え方は個人差があるのではないか。

(教育課) 調査時の質問項目は、「祭り、運動会、子ども会、ボランティア活動」などと地域の行事を例示しているため、それほど個人差は生じないと考えています。

(会長) 「学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、児童・生徒が学習していると思う市民の割合」では、施設・設備の整備と快適・安全な教育環境が必ずしも結びつかない場合もある。施設・設備が整備されていても快適・安全と感じていない場合などは答えづらい設問ではないか。

(教育課) 厳密には答えづらい設問になると「どちらでもない」という選択肢を選ぶこととなります。

(会長) 平成 28 年度に既に調査を実施しているが、本来であれば設問を 2 つに分けるべきとあると考えられるので、今後認識を持っておいた方がいい。

②分野Ⅱ－柱 3 教育環境について

(教育課) ～ 分野Ⅱ－柱 3 教育環境について教育課長より説明 ～

(会長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

(委員) 行政の使命として、適応指導教室を設置し、相談体制を整えるとあるが、ただ設置するだけでは、不登校の児童生徒数は減らない。もう一步踏み込んだ施策を検討してほしい。

(会長) 心の教室相談員の配置や、適応指導教室の設置によって、子どもたちの心がどのように変わるのか、具体的に記載した方がいい。

- (委員) 不登校の児童・生徒数の推移を見ても、減らすのは非常に困難だということがわかる。県内でも江南市の不登校数は多い。
- (会長) 不登校が減るのが理想ではあるが、一方で不登校が本当に悪いことなのかという人もいる。そういう意見も含めて子どもたちにとって何が最適な環境なのか考えなければならない。
- (委員) 江南市には、制度として越境通学はあるのか。
- (教育課) 原則としては、住所地で学校区が決まり、希望により越境通学を認めることはありませんが、個別の事情により、その方が子どもにとって有益であろうと判断される場合であれば、基準を設けて認めることもあります。
- (委員) 小学校の頃不登校だった生徒が、私立中学校に入学すると、何の問題もなく通学するケースもある。一度不登校になると復帰しにくいということもあるが、環境が変われば学校に通いやすくなることもある。そういった制度を周知することで支援をすることも可能だと考えられる。
- (委員) 個別目標の「望む教育を受ける環境が整っている」は、誰にとって望ましいものなのかがわからない。全ての市民それぞれが望む教育を受けられると受け取られることもあるのではないか。
- (教育課) 検討します。
- (会長) 現状と課題に、「子どもたちを地域と連携しながら育む」とあるが、行政の取り組みや個別目標からはそれが読み取れない。
- (教育課) いじめ・不登校対策事業では、学校、家庭、地域、警察、児童相談センターなどの関係機関が連携して対策を行っていますが、地域ぐるみの取り組みとしては、教育課のもうひとつの柱「学校教育」においてコミュニティスクール事業を推進し、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでおり、地域との連携としてはそちらが主となります。
- (会長) 「教育環境」の柱では、地域の連携に関しては、もう少し限定的に記載してもいいのではないか。
- (教育課) 検討します。

③分野Ⅱ－柱1 子育てについて

- (教育課) 前回の会議において委員からの「放課後子ども教室の実施数は、平成 35 年度に 7 校、平成 39 年度に 10 校に増やすという目標だが、段階的ではなく、一度に全校まで増やすことはできないのか」との質問に対し、現在の担当課であります教育課から回答させていただきます。放課後子ども教室は、現在 6 校で実施していますが、平成 29 年度古知野東小学校で実施し、7 校となります。放課後子ども教室は、学校の余裕教室を活用して実施するものでありますが、実施していない古知野北小学校、布袋北小学校、草井小学校では児童数の推移から、教室の確保の見込みが立っていない状況であり、平成 35 年度までに全校で実施することは困難であると考えています。

④分野Ⅱ－柱4 生涯学習について

- (生涯学習課) ～ 分野Ⅱ－柱4 生涯学習について生涯学習課長より説明 ～
- (会長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。
- (委員) 生涯学習講師人材バンクの登録者数は。
- (生涯学習課) 平成 28 年 4 月現在 146 人で、年金、保険、交通安全、陶芸、太極拳など多岐にわたる分野で登録されています。
- (委員) 利用したい場合はどうすればいいのか。
- (生涯学習課) 市で電話による依頼を受け付け、内容に応じて講師に連絡し、講師から依頼者へ直接連絡させていただきます。
- (委員) 学校教育・部活動や、不登校の生徒への教育などにも地域の講師を活用し、活躍・活動ができるようにしてほしい。
- (会長) 放課後子ども教室などにも活用できる。
- (委員) 文章中で「スポーツ」という言葉がよく使われているが、事業名などには「体育」という言葉が使われている。今後も「体育」という言葉を使うのか。
- (生涯学習課) 国でもスポーツ庁など、「スポーツ」という言葉が使われおり、やがては「スポーツ」

に移行していくことになると思います。

(委員) 目標として公民館の利用者数を増加させていくとある。平成 29 年度からは公民館の施設利用が有料化されるが、その影響はどのように考えているか。

(生涯学習課) 公民館の利用者数については、現段階では予測がつきませんが、平成 29 年度以降の利用状況を見て、5 年毎の定期的な見直しの際には、利用者からの要望の多い 2 時間単位の利用区分を 1 時間単位へ見直すなど、利用しやすい環境づくりを検討していきたいと考えています。

(委員) 体育館の稼働率は、新体育館の稼働率を見込んでいるのか。

(生涯学習課) そうです。

(委員) 予約をとりやすい場所とそうでない場所などがあると思うが、ホームページなどで予約状況を確認できるともっと稼働率が上がるのではないか。

(生涯学習課) 現在、テニスコートや会議室の予約状況はシステムで確認でき、グラウンドに関しては、今後システムで対応する予定です。新体育館については現在検討中しているところです。

(委員) 予約確認はインターネットでできるが、予約は窓口に行かなければいけない。予約もできるようになるといい。

(生涯学習課) 検討していきます。

3 その他

次回会議日程について

(事務局) 次回第 6 回分科会会議は 2 月 2 日 (木) 午後 1 時から防災セミナー室 (南) で開催します。事前に資料を送付しますので、よろしくお願ひします。

4 閉会

(事務局) 長時間に渡りご検討いただきまして、ありがとうございました。第 6 回市民会議 (分科会) を終了します。本日はありがとうございました。